

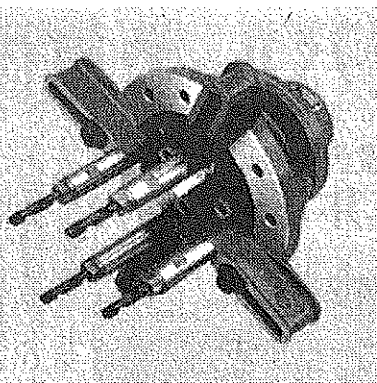
宮川工業

印に販売・調達子会社

多軸アタッチメントなど コピー製品に対抗

【岐阜】宮川工業（岐阜県関市、宮川治郎社長、0575・22・1411）は、インド・ブネに販売とOEM（相手先ブランド）調達の子会社「ミヤガワ・コウギョウ・インディア」を設立した。自社製の多軸アタッチメントや面取り機を中心に、治具やポンプなどの他社日本製品も含めてインドや東南アジアで販売する。年内に現地で自社製品の委託生産も始める予定。初年度1億円、3年後3億円の売上高を目指す。海外法人の設立は同社で初めて。

新会社は現地中堅商社と折半出資で設立した。営業2人、経理1人の計4人のインド人社員を置かない。当面は債借事務



主力の多軸アタッチメント

機器・ユニットを一括受注する販売スタイルで差別化する。現地メーカーへの委託生産により10月に面取り機を、12月には多軸アタッチメントを現地で発売する。現在

かし、日本企業対象にインド進出のコンサルティング業務も行う。工場新設・増設に必要な日本製

カーへの委託生産により10月に面取り機を、12月には多軸アタッチメントを現地で発売する。現在

は日本製を輸出している中国や韓国、東南アジアにも輸出する。委託先は合弁相手の取引先の大手メーカー群を活用する。同社は自社で発明した多軸アタッチメントが主力で、2012年7月期の売上高は6億8000万円。多軸アタッチメントは主要特許が切れており、特に海外市場では低価格のコピー製品との競合が厳しくなっている。インドを拠点に海外市場を深掘りすることもに、現地生産化で海外コピー製品に対抗する。品質が安定すれば汎用タイプは国内販売分もインド製OEM製品に切り替える。国内生産は付加価値の高い特注品に特化し、収益力向上を図る。

製粉プラント受注

サタケ、フィリピンから

【広島】サタケ（広島県東広島市、佐竹利子代表、082・420・8501）は、フィリピンの大手食品メーカー、モンデニッシン（マカティ市）から小麦製粉プラントの増設工事を受注した。受注金額は7億2500万円。2013年1月に設備の出荷を始め、同年9月に完成の予定。

位置・動き同時に計測

ゼットエムピーが車両用センサー

ゼットエムピー（東京都文京区、谷口恒社長、03・5802・6901）は、車面の位置や挙動、環境を同時に計測できるセンサー「einvov. ポジション」に、データロガーと表示ソフトを組み合わせたパッケージを発売した。地球測位システム（GPS）、各種センサーなどを搭載。パソコンを使わずに同時計測を可能にした。価格は一般向け約94万円。研究開発向けが約80万円。

ブラシレス電動ドライバー

アジアに廉価版投入

して提供しており、電動ドライバーの無償提供で、ユーザーにネジ締め的重要性を訴求する。